

資料3

協議会における今年度の取組みについて

1 具体的な取組み内容

子ども・若者総合相談センターを核とした、官民の支援機関によるネットワークが円滑かつ効果的に機能するため以下の取組みを行なう。

様式の共通化の検討	支援に必要な様式の共通化を図り、円滑に支援機関から支援機関へとつないでいけるようにするため、インテークシート、アセスメントシートなどの共通様式を作成する。
支援の効果測定の検討	どの位の期間で、こういった支援を行い、本人の状況がどの段階にあるのかなどを同じ指標で測定し、より効果的な支援ができるようにするため、共通の成果指標を作成する。
情報の共有、一元化のほか、ネットワークが円滑に機能するための方策の検討	ネットワークの構成機関等がいつでも支援の状況を把握できるようにするとともに、支援の途中でドロップアウトすることがないよう全体で見守るようにするため、同意書にもとづくネットワーク内での個人情報の共有や、総合相談センターへ支援の状況を報告することで、情報の一元化を図る仕組みを構築する。 また、事例検討の実施など、ネットワークが円滑に機能するための様々な方策を検討する。

2 取組みにあたっての基本的な考え方

- 各項目について平行して検討を行うが、個人情報の共有や情報の一元化を効果的に実施する上で必要となる様式の統一や、支援の効果測定のための指標の作成について、より迅速に取り組む。
- 子ども・若者総合相談センターを中心として、双方向の支援が行われるが、現在の各支援機関の取組みを鑑み、まずは、センターを介した他の支援機関へのリファーを対象とした検討を行う。
- 検討にあたっては、現在各団体で使用する様式や取組み等のほか、他都市の先進的事例や国の取組み等も参考にする。また、ノウハウを持つ民間団体からスーパーバイザーとして意見を聴取する。
(スーパーバイザー：NPO法人「育て上げ」ネット 地域担当部長 井村良英)
- 検討の過程で、構成員全体に意見を聴取する機会を設けるとともに、できる限り検討の状況についても情報発信する。

3 ワーキングスケジュール（予定）

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
ワーキング グループA (様式の共通化)		月1～2回 検討			月1～2回 検討			
ワーキング グループB (支援の効果測定)		月1～2回 検討			月1～2回 検討			
ワーキング グループC (情報の共有、 一元化等)		準備会 (1回程度)			月1～2回 検討			

中間案検討（ワーキングG全体会）

構成機関全体への意見聴取

最終案検討（ワーキングG全体会）

実務者会議全体会議

子ども・子育て支援協議会へ報告

代表者会議へ報告

試実 行施